

令和7年1月31日開催

令和7年度予算案記者発表



令和7年度予算案

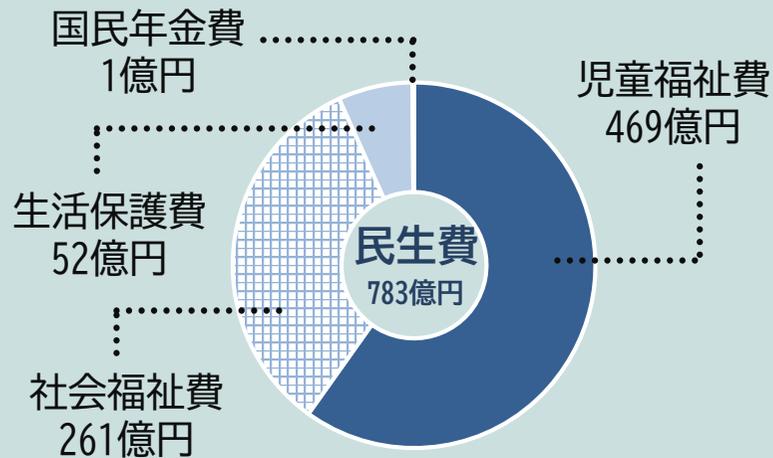
一人ひとりの暮らしを大切にし、
希望あふれる未来へ進む予算

令和7年度予算規模

一般会計予算は **過去最大** の当初予算規模となる **2,043億2,000万円** を計上



令和7年度目的別歳出予算

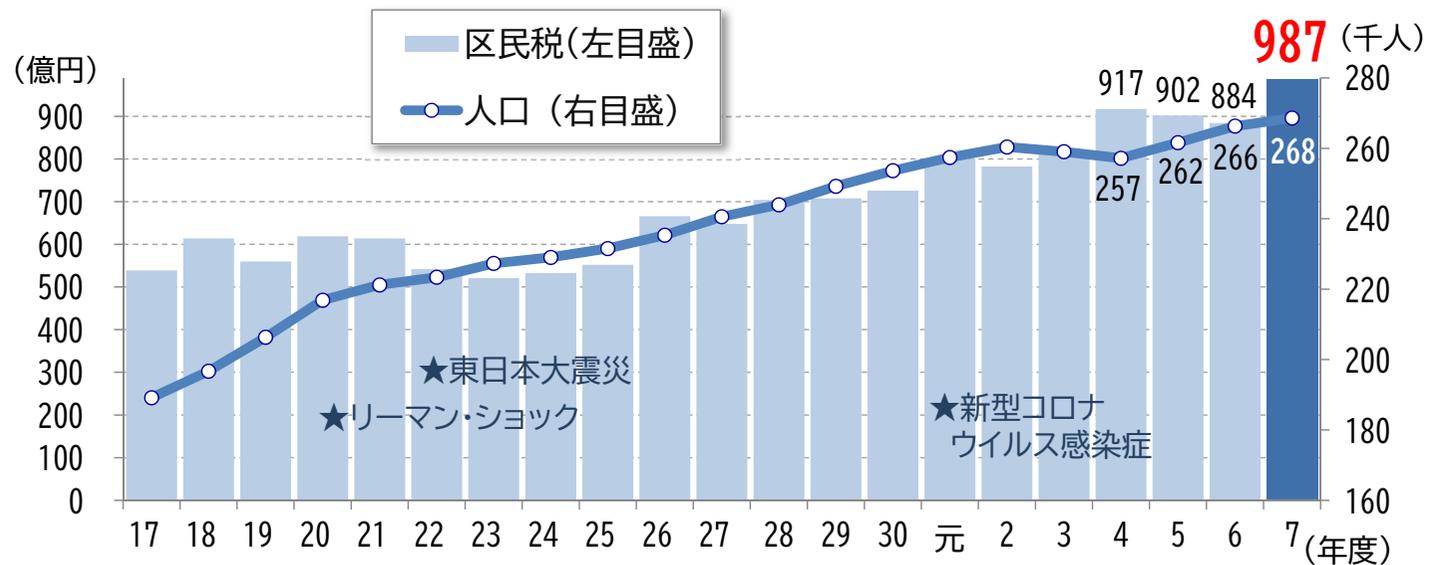


目的別	割合	金額 (億円)
衛生費	4.5%	93
環境清掃費	3.9%	81
産業経済費	2.2%	45
議会費	0.3%	7
その他	5.0%	102

令和7年度は、ベビーシッター利用支援事業、医療的ケア児・者支援事業、エンディングプラン登録事業など、民生費の予算に783億円を計上。

人口と特別区民税収入の推移

- 特別区民税の根幹を成す所得税は人口の増加に伴い堅調に推移
- 特別区民税収入は**当初予算では過去最高額**となる**987億円**の見込み



※令和6・7年度は当初予算額、平成17～令和5年度は決算額

※人口は各年1月1日

重点施策

重点施策 **1** 子どもたちが健やかに成長できる、
しあわせな都市を実現する 施策 182億4,350万円

重点施策 **2** 誰もが自分らしく、心身ともに
元気に生活できる都市を実現する 施策 78億5,389万円

重点施策 **3** 区民が安心して、いつまでも
暮らし続けられる都市を実現する 施策 66億558万円

重点施策 **4** 地域に活気があり、にぎわいが
広がる都市を実現する 施策 88億673万円

個別事業紹介

学童クラブ等利用児童へのおやつが無償提供

学童クラブにおけるおやつは、子どもたちの放課後の栄養や活力を補うために必要不可欠なものです。これまで利用児童の保護者が負担していたおやつ代等を公費で負担するとともに、児童館等の直接一般来館児童にもおやつを無償提供します。

学童クラブを利用していない（待機児童を含む）が、保護者の就労等の理由で、放課後に学校から直接施設に来館する児童

- 対象者
- ・学童クラブ利用児童
 - ・児童館、子ども中高生プラザ、児童高齢者交流プラザの直接一般来館児童

提供開始 令和7年4月

23区初！

学童クラブ利用児童に
おやつを無償提供するのは



思春期特有の悩みなどが増え、不安に揺れ動く高校生世代が、学校や家庭のほかに、安心してひとりで過ごせる居場所を提供します。

- 高校生世代が行きやすいエリアの民間施設を活用し、くつろいで本を読むなど、自分の過ごし方が選べる空間づくりを行います。
- スタッフは、積極的な干渉はせず、支援が必要な場合は声掛け相談を行い、必要に応じて関係機関につなぎます。

主な対象者 概ね15～20歳の区内在住・在学者

開設時期 令和8年4月（予定）

高校生世代を対象にした実態調査、高校生世代との意見交換会や港区高校生世代の居場所づくりに関する検討委員会など、様々な機会を捉えて高校生世代の声を反映しました。

高校生世代がひとりで
過ごすことを主目的とした
居場所づくりは

23区初！



居場所のイメージ図

新規

卵子凍結費用の助成 – プレコンセプションケアとの一体的な支援 –

11,448 千円

港区は全国と比較して高齢出産の傾向がみられ、令和5年出生数のうち、約半数の47%（第一子においては37%）が35歳以上での出産でした。体調やキャリアの問題など、様々な事情により、将来の妊娠を希望する方を支援するため、東京都の卵子凍結費用助成に区独自の上乘せ助成を行います。

都の助成に上乘せで助成するのは **都内初！**

対象者 東京都の卵子凍結費用助成決定を受けた区民

助成額 卵子凍結費用から、都の助成金20万円を控除した額に対して最大10万円

助成開始 令和7年4月



また、大学や企業と連携し、区内の大学生や在勤者などを対象にしたプレコンセプションケアセミナーを開催することで、若い世代への出産や妊娠の理解促進を図ります。

プレコンセプションケア …… 女性やカップルを対象に、将来の妊娠に向けた健康管理を促す取組

令和7年度予算案記者発表



マッチング型ベビーシッター利用料の補助

区では、令和5年度から派遣型ベビーシッター利用の補助を行っていますが、利用者の増加に伴い、予約がとりづらいという声が増えています。そこで、保育の一時預かりの「お断りゼロ」に向けた取組の一つとして、新たにマッチング型ベビーシッター利用も補助の対象とします。

- マッチング型ベビーシッターは、提供する保育の内容や利用料金、急な予約への対応等、幅広い選択肢から、利用者が自らニーズに合ったシッターを選択することができます。
- 保育の質や安全性、利用しやすさ等、区が適切と認めるマッチング型ベビーシッター事業者を独自に認定します。病児保育にも対応可能です。

マッチング型ベビーシッター
利用への補助は

都内初！

対 象 小学6年生までの子どもを養育する家庭
補 助 額 日中 1,000円/時間、夜間 1,500円/時間



区立母子生活支援施設を活用した特定妊婦への支援

孤立や貧困、DVや若年妊娠などの複合的な問題を抱える特定妊婦への支援が全国的な課題となっており、区の子ども家庭支援センターでも、相談が年々増加しています。頼るべき親族や居所がない特定妊婦が安心して子どもを産み育てることができるよう、区立母子生活支援施設を活用し、産前から産後の自立までを支援します。



区立母子生活支援施設での
妊産婦等生活援助事業は

23区初!

居室の提供	区立母子生活支援施設「メゾン・ド・あじさい」の一部を、特定妊婦専用の居室として提供
支援計画の策定	支援コーディネーターが本人の意向を踏まえた支援計画を策定
生活支援	母子支援員が、健康管理、夜間の見守り、支援サービスの利用などを支援
相談支援	支援コーディネーター、母子支援員、みなと保健所の保健師等が連携し、妊娠出産に関する相談に対応
病院との連携	母子支援員、保健師、出産予定病院が連携し、円滑で安全な出産を支援

新規

パスポート不要の MINATOまるごと留学

5,500 千円

国際色豊かな港区の特徴を生かし、子どもたちが、区内の外国人住民の自宅でホームステイを体験したり、外国人と街歩きで交流する「MINATOまるごと留学」を実施します。外国語とその国の文化に直接触れて国際理解を深めるとともに、港区の魅力の再発見にもつなげていきます。



自治体主催の自治体内ホームステイ体験は

都内初!

実施内容

- ①区内ホームステイ 港区に住む外国人の自宅でホームステイを体験します。
- ②まち歩き交流 外国人とチームを組み、英語でミッションをクリアしながらまち歩きをして交流を深めます。

定員と 自己負担額

- ① 40人程度 1人20,000円程度
- ② 100人程度 無料

対 象

18歳以下の区民

実施にあたり、区内各国の大使館との積極的な連携も検討していきます。

新規

区立小・中学校の学用品の無償化

274,304 千円

区立小・中学校では、授業を円滑に進めて児童・生徒の学習を深めるため、計算ドリルや理科教材、英検の検定料などを公費で負担しています。この取組をさらに推し進め、子どもたちの学びの環境をより充実させるため、児童・生徒が一律に使用する補助教材及び学習材料を、所得制限なく無償化します。

対 象 区立小・中学校の児童・生徒

開始時期 令和7年4月



無償化の対象
(予定)

計算ドリルや漢字ドリルなどの各種ドリル、理科で使用する実験キット、習字で使用する書道セット、図工で使用する絵具セット、音楽で使用するリコーダー、家庭科の調理実習用材料など

スペシャルニーズアシスタントの配置

支援を要する児童・生徒に、学習場面や学校生活において、個に応じた支援が行き届くよう、全区立小・中学校にスペシャルニーズアシスタントを配置します。人材派遣による配置とすることで、学校現場での指揮命令系統を明確化し、効果的な支援体制を整備します。

- 支援対象**
- ・通常の学級に在籍している知的な遅れのない発達障害(LD、ADHD、自閉症スペクトラム障害等)がある児童・生徒
 - ・日常的に友達とトラブルを起こしてしまうなど、学校生活において困難さをもつ児童・生徒

開始時期 令和7年4月

スペシャルニーズアシスタントの対応事例

- 学習場面で必要な支援を行う。
- 気持ちが落ち着くまで別室で寄り添う。
- トラブルを起こした理由を聞き、一緒に原因を考える。
- 教室に入れない時、落ち着いてから一緒に入室する。
- 集団活動に安心して取り組めるように個別に声をかける。



モーニングスクールの実施

幼稚園・保育園に預けられていた子どもたちが小学生になり、保護者出勤後に1人で登校するものの、登校時刻開始前のため校舎内に入れず、校舎前で待機する状況が発生しています。児童の通学時の安全確保と始業前の居場所を確保するため、エデュケーション・アシスタントの配置数を拡充し、モデル校2校でモーニングスクールを実施します。



小学校1年生から3年生までの学級担任を補佐して安定した学級運営を支援します。現在、区立小学校各校に原則1名ずつ配置しています。

対 象 令和7年度は試行的に、区立御田小学校と区立白金小学校の1年生を対象に実施します。

実施時間 午前7時45分～8時20分 各モデル校に2名ずつエデュケーション・アシスタントを追加で配置

GPS機能付き見守り端末の無償貸与

区では現在、子どもの通学時等の安全を確保するため、不審者情報の配信、携帯防犯ブザーの無償貸与や登下校時の誘導を実施しています。さらなる安全対策として、保護者が子どもの居場所を確認できるGPS機能付き見守り端末を新たに無償で貸与します。

- 児童の居場所を随時リアルタイムで確認できます。
- 児童がいる現在地や、あらかじめ事前に登録しておいた地点への発着をプッシュ通知でお知らせします。
- 児童が緊急ボタンを押した時にもプッシュ通知でお知らせします。
- 児童の移動した軌跡を確認できます。

対象者	区立小学校の1年生から6年生までの全児童
費用負担	原則として保護者負担なし ※端末費、通信費、 その他の経費は全て区が負担
貸与開始	令和7年8月（予定）



児童・生徒等の意見も取り入れながら、安全安心でおいしい学校給食の充実を図り、子どもたちの食育を推進します。

「港区オーガニックデイ給食」の実施

- 12月8日の「有機農業の日」に合わせ、全区立小・中学校で有機農産物を使用したオーガニック給食を提供する日を設けます。

テーマメニューの提供

- 国産食材の利用促進とアレルギーに配慮した米粉メニューを開発・提供します。
- 区立中学校で実施している海外修学旅行にちなみ、シンガポール料理のメニューを提供します。
- 区内商店街飲食店の看板メニューをアレンジして給食で提供する取組を、引き続き継続して実施します。



有機栽培米の使用

- 有機栽培米の生産に積極的な木更津市のお米を全校の給食に使用します。
(令和7年12月頃)

食農教育の充実

- 連携自治体の繋がりを生かし、農産物の生産者等による区立小学校での食農教育を実施します。

新規

特別な配慮が必要な障害児と家族への支援の充実

① 10,583 千円

② 21,448 千円

医療的ケアが必要な児童などの成長に応じた支援を充実するとともに、その家族が安心して就労できる環境の整備に取り組みます。



① 医療的ケア児・者支援の実施

- 東京都の研修を修了した「医療的ケア児等コーディネーター」が医療的ケア児の退院時から相談に応じ、地域での生活をサポートするなど、相談支援体制を強化します。
- 支援ガイドブックを作成し、本人や家族に向けた支援情報を分かりやすく提供します。
- 医療的ケア児・者支援事業所への支援（人材紹介会社紹介費補助、新任職員育成支援）を実施します。

② 放課後等デイサービス送迎支援の実施

- 区内の放課後等デイサービス事業所から距離のある、都立臨海青海特別支援学校に通う児童を対象に、区が学校から事業所までの送迎を実施します。

③ 重症心身障害児(者)等在宅レスパイト等事業の拡充

- 医療的ケアを必要とする重症心身障害児(者)を介護する家族が、一時的に介護から離れて休養や就労できるよう、支援を拡充します。
- 自宅等への看護師の派遣について、利用者本人の状況等を勘案し、サービス提供時間を拡大するとともに、特別支援学校等への派遣にも対応します。

年度内の利用時間 原則144時間のところ、288時間に拡大



④ 夏休み等のデイサービスにおける朝の時間帯の延長利用開始

- 障害保健福祉センターの放課後等デイサービスについて、利用者のニーズを受け、夏休み等の三期休業期間における朝の時間帯の延長利用として、通常よりも1時間早い午前8時30分から開始します。



新規

あんしん未来・終活サポート

9,813 千円

高齢化や核家族化が進み、判断能力が低下した際の生活や、葬儀や遺品整理などの事務対応に不安をもつ方が増えていることから、エンディングプラン（終活情報）の登録事業を開始します。

- 希望する区民が、あらかじめ緊急連絡先や生前契約等の終活関連情報を区に登録しておくことで、必要な時に、開示先（警察、消防、医療機関、親族、友人等）に登録者の意思を正確に伝達し、希望に沿った終末期の医療、円滑な死後事務を実現できるようにします。
- 高齢者のみならず、また、所得にも関係なく、幅広い世代（成人以上）の区民を利用対象とし、終活に不安を抱える方を広くサポートします。

高齢者以外の世代も対象とするのは

23区初！



開始時期 令和7年10月

対象者 成人以上の区民

港区社会福祉協議会が実施する「終活相談窓口」と「身寄りのない高齢者の入院時サポート」とも連携し、いざという時の安心を支えます。

令和7年度に開設する障害者及び高齢者福祉施設

誰もが住み慣れた地域でいきいきと生活できるよう、令和7年度に新たに3つの福祉施設を開設します。

青山ふれ愛テラス（複合施設） 南青山2-6-3

令和7年4月1日 開設

小規模多機能型居宅介護施設 定員29名、通所18名、宿泊9名
区立障害者グループホーム 定員10名（知的5名、精神5名）

南青山一丁目高齢者福祉施設 南青山1-55-94(地番)

令和7年10月 開設予定

地域密着型特別養護老人ホーム 定員29名、短期入所1名
認知症高齢者グループホーム 定員27名

カナルサイド高浜（複合施設） 芝浦4-3-28

令和8年1月 開設予定

小規模多機能型居宅介護施設 定員29名、通所18名、宿泊9名
区立障害者グループホーム 定員6名

令和7年度に開設する障害者及び高齢者福祉施設

青山ふれ愛テラス（複合施設） 南青山2-6-3



- 地上5階建て
- 木の風合いを感じられる資材を多用
- 敷地内に災害用井戸を設置

その他施設 区民協働スペース、防災備蓄倉庫 等

カナルサイド高浜（複合施設） 芝浦4-3-28



- 地上19階建て

その他施設 私立認可保育園、区民向け住宅、障害福祉サービス事業所 等

- 南青山一丁目高齢者福祉施設は、民間事業者が区が土地を貸し付け、その事業者が建設を進めています。
- 令和8年度以降にも、小規模多機能型居宅介護施設や、港区初となる日中サービス支援型グループホームの開設を予定しています。

新耐震基準の分譲マンションの耐震性確認支援

港区では区民の約9割がマンション等の共同住宅に居住しています。そのうち分譲マンションは約半数が築30年を経過し、建替えや維持管理が課題となっています。区では、旧耐震基準で建てられた建築物の耐震化を支援していますが、平成28年の熊本地震や令和6年の能登半島地震では新耐震基準の建物でも一部被害が見られたことから、**新耐震基準**で建てられた分譲マンションを対象に、**耐震性再確認の調査費用の助成を開始**します。安全性の検証を通じて、マンションの耐震化を促進します。

新耐震基準分譲マンションの耐震性確認への補助は **都内初!**

- 新耐震基準（昭和56年6月1日～平成12年5月31日）で建てられた分譲マンションの管理組合等に対し、マンションの耐震性を確認するための構造計算調査費用を補助します。

補助率 10/10 上限 450万円
事業開始 令和7年4月



災害発生時に大切なペットと一緒に避難できるよう、ペット同行避難が可能な区民避難所(44か所)のペット同行避難の受入れ体制整備に向けて、「スターターキット」の導入を進めていきます。

スターターキット

避難所運営者及び避難者が協力して、速やかにペット飼育スペースを設営できるよう、飼育スペース設営のための指示書や必要な物資を入れた道具一式のこと



区民避難所は、地域防災協議会を中心とした区民による避難所運営組織が主体的に運営することを基本とします。災害発生時に避難所運営者と避難者がペット受入れ体制を整えられるよう、具体的なスターターキットの内容や運営方法について検討していきます。



令和7年1月28日に、地域防災協議会の方等を対象にしたペット防災に関する講座を区内で開催し、71名の参加がありました。

みなと保健所に「動物政策監」を配置して、ペットの終生飼養の啓発や区民からの相談支援を強化するとともに、動物病院と連携し、飼い主の施設入居や死亡等によって飼養が困難になったペットの保護・譲渡を支援します。

- 終生飼養の啓発や区民から寄せられる相談へのサポートのため、獣医師資格を有する「動物政策監」を新たに採用します。
- 区から動物病院に飼い主不在のペットの情報を共有します。動物病院は対象ペットを保護し、ワクチン接種や病気の治療等の必要な医療処置を行った上で、新たな飼い主へ譲渡します。

動物政策監を
配置するのは

23区初！



動物政策監の配置 みなと保健所生活衛生課に1名（会計年度任用職員）

**動物病院への補助
（上限額）** メス 242,000円/1頭、オス 234,000円/1頭

事業開始 令和7年4月

臨時
継続

港区版地域通貨の導入

港区商店街連合会（区商連）が運用している「港区電子スマイル商品券アプリ」の機能を拡充し、港区版地域通貨として区商連加盟店舗での日常的な買い物に利用できるよう支援します。また、清掃活動やイベントなどの地域活動への参加に対してもポイントを付与することで、消費喚起とともに、区民等の地域活動への参加促進にもつなげていきます。

利用対象 どなたでも

利用方法

アプリをダウンロードしてチャージし、対象店舗で二次元バーコードにより決済

運用開始 令和7年7月



ポイント還元キャンペーン

実施時期 令和7年7月
令和8年2月(予定)

還元率 中小個店20%、大型店舗5%

※令和7年8月～令和8年1月に2%還元実施予定
※還元上限あり

アプリ利用促進キャンペーン

- ①アプリダウンロードで500ポイント付与 ※先着5万件
- ②アプリでの決済額の2/3を店舗に還元

実施時期 ①令和7年7月以降 ②令和7年7月

※対象店舗限定、還元上限あり

**利用者と参加店舗の
増加を促進！**

区では平成30年から、ふるさと納税制度本来の趣旨に則り、返礼品によらず、区を取組を応援していただく「港区版ふるさと納税制度」を実施しています。
国の動向や国内旅行ニーズの高まりなどを踏まえ、「港区版ふるさと納税制度」をより積極的に活用して地域の活性化につなげていくため、新たに**体験型の返礼品の提供**に向けて準備を進めていきます。

- 体験型返礼品は、港区に來訪しての宿泊や周遊を促すような内容とします。

例：宿泊施設のクーポン、観光・文化施設のチケット等

スケジュール	令和7年5月	返礼品募集・選定
	令和7年8月	総務省における返礼品の審査
	令和7年10月	返礼品の提供開始

※地場産品基準を満たす、港区ならではの体験型の返礼品を総務省に申請していきます。



体験型返礼品のイメージ



新規

MINATO × アート事業

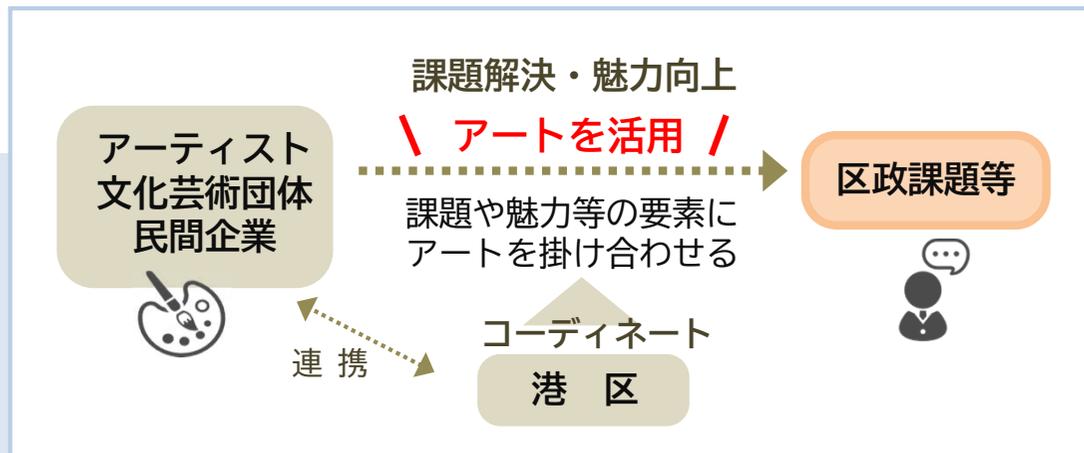
27,320 千円

アート之力を他分野の課題解決や魅力向上に活用します。観光、国際交流、福祉、防災などの分野とアートを掛け合わせることで、区の文化芸術施策の推進と区民生活のさらなる充実を図ります。

- 民間企業等から、区政課題の解決に向けたアート活用事業の提案を募集し、実施します。



アート×子ども分野の事業例



スケジュール

令和7年5月	課題ヒアリング
6～7月	課題抽出・分析
10月頃	民間企業等から提案募集
～令和8年3月	アート活用提案事業実施

文化財保護奨励金の拡充

区内には現在、150を超える区指定文化財があります。こうした文化財を適切に保存するとともに、区民に向けて積極的な公開が進むよう、文化財保護奨励金を拡充します。



◀ 赤坂氷川祭の山車人形

▼ 木造歴代人坐像



NEW!

非公開文化財の公開や実物に近いレプリカ作成など、文化財の積極的な活用に向けた経費

対象	拡充前	令和7年4月から
有形文化財（建造物）	5万円	7万円
有形文化財（建造物以外） 史跡・旧跡・名勝・天然記念物 ・有形民俗文化財	2万円	3万円
無形文化財保持者（個人） 無形民俗文化財（個人）	3万円	5万円
無形文化財保持者（団体） 無形民俗文化財（団体）	5万円	10万円
積極的な活用にかかる経費	—	費用の8割 ※上限100万円/件

区の進むべき未来への確かな道筋を示すため、港区基本構想、港区基本計画、港区実施計画を統合した総合計画「MINATOビジョン」を新たに策定します。令和8年度の策定に向け、令和7年度は区民参画の取組や基礎調査等を実施します。



令和7年度の取組

- 学識経験者等を構成員とする検討会議を設置するとともに、区民や在勤者、在学者がワークショップで議論するタウンフォーラムを開催し、区の将来像を検討します。
- 区民等意識調査、区民アンケート、AIを活用したオンラインディスカッション、みなと子ども会議等を通じて、広く区民の意見を把握します。
- 各地区総合支所に区民参画組織を設置し、地域事業の提言を取りまとめます。

スケジュール 令和7年度 調査や会議体等により区の将来像等を検討
令和8年度 パブリックコメント等を経てMINATOビジョン策定
令和9年度 MINATOビジョン運用開始

その他の主要な新規・レベルアップ事業

レベルアップ

区立の直営保育園全園に英語のネイティブティーチャーを派遣

資料23

レベルアップ

地域で育む日本語学習支援プロジェクト

資料24

レベルアップ

メタバースを活用したひきこもり当事者の居場所づくり支援

資料25

レベルアップ

特定相談支援事業所等の相談支援専門員の賃金改善支援

資料26

レベルアップ

おたふくかぜワクチン任意予防接種費用助成

資料27

レベルアップ

マンションの宅配ボックス設置費用の助成

資料28

新規

災害時における衛星通信環境の整備

資料29

レベルアップ

マンション等共同住宅の震災対策

資料30

レベルアップ

学校屋内プール開放校の追加と利用対象者の拡大

資料31